

## 中京圏初となるガソリンスタンド一体型水素ステーションを愛知県名古屋市にオープン

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、本日、中京圏で初めてとなる、ガソリン計量機と燃料電池自動車(以下、FCV)への水素充填機を並列設置した水素供給拠点として、ENEOSサービスステーション Dr. Drive神の倉店(運営店:株式会社JOMOネット)内に「神の倉水素ステーション」をオープンしますので、お知らせいたします。

当水素ステーションは、本年4月に神奈川県海老名市に開所した「海老名中央水素ステーション」と同様、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と水素供給・利用技術研究組合<sup>※1</sup>(HySUT(ハイサット))の共同実証事業の一環として、市街地では初めてとなる70MPaの水素充填<sup>※2</sup>を、ガソリンスタンド敷地内で行うものです。

当ステーションでは、ステーション内で水素製造装置によりLPガスから水素を製造し、蓄圧器(ボンベ)に貯蔵するオンサイト方式を採用しました。

また、ステーションの水素供給設備は、「ダウンサイジング・省スペース化」「ローコスト化」を目指して新たに開発したパッケージ型設備<sup>※3</sup>であり、今後の水素ステーションの建設コストの低減につながる事が期待されます。

当社は、両水素ステーションの実証事業を通じ、全国に展開するENEOSサービスステーションネットワークを活用した水素供給インフラ整備とビジネスモデル構築に取り組んでまいります。

- ※1 当社を含む参加企業・団体が、それぞれ保有している水素の供給・利用に関する技術やノウハウを結集し、水素供給ビジネスの事業化に向けた供給安定性、経済合理性、環境適合性等の検証を行うために設立された技術研究組合。
- ※2 これまで、70MPaの水素充填設備の設置は市街化区域の工業地域のみ制限されてきたが、2012年11月に「一般高圧ガス保安基準」が改正され、工業地域以外の市街化区域でも設置が可能となった。
- ※3 工場で機器・配管一式を標準規格コンテナ内にセットしたもので、現場での設置工事期間短縮とコスト削減が可能。

所在地	愛知県名古屋市緑区赤松802 ENEOSサービスステーション Dr. Drive神の倉店(※1) 内
開所	2013年5月27日
水素の製造・輸送方法	オンサイト方式(LPガスから水素製造)
水素供給設備(※2)	パッケージ型設備 トキコテクノ(株)製 水素製造装置:三菱化工機(株)製 圧縮機: (株)日立製作所製 蓄圧器:カーボンファイバー複合容器 サムテック(株)製 冷凍機:オリオン機械(株)製
供給能力(※3)	100Nm <sup>3</sup> /h
充填圧力(※4)	70 MPa
充填時間(※5)	約3分間

※1 運営店:株式会社JOMOネット、敷地面積:947坪

※2 圧縮機は、気体を圧縮して圧力を高めるための機械。蓄圧器は、圧縮機によって圧力を高められた水素を貯蔵する設備。

※3 1時間あたりの水素供給能力、蓄圧器及び圧縮機の能力、充填方式(差圧/直接)などによって決まる。

FCV1台に充填する水素量は50Nm<sup>3</sup>であり、1時間当たり2~3台の水素供給能力を有する。

※4 現行のFCV充填圧力には35MPaと70MPaの2種類があるが、2015年の市販車は、より圧力が高く同じ容量で多くの水素が貯蔵できる70MPaへ統一される見通し。

※5 国際標準規格に基づき、70MPa(満タン)までの充填時間は約3分と想定。

以上



神の倉水素ステーションの外観



ガソリンスタンド計量機と並列設置された水素充填機